

# “若き華”の笑顔 親里に咲く

## 立教186年 春の学生おぢばがえり



第644号

発行所

天理教静岡教務支庁  
〒425-0013  
焼津市岡当目1番地

TEL (054) 626-1333  
FAX (054) 628-4615  
Email:skyou@live.jp

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。



コロナ禍の行動制限が無くなりつつあり、色んな行事が開催できるようになった中、三月二十八日「立教百八十六年 春の学生おぢばがえり」が開催されました。

静岡教区では、二十七日から二十八日にかけて団参が行われ、参加した学生は、現地集合も含めて男子五名、女子六名、合計十一名。今年マイクロボスでおぢばに向かいましたが、昨年はワゴン車一台で参加したことを思うと大きな飛躍です。

参加者は嶽東大教会、教務支庁、山名大教会にそれぞれ集合し、おぢばに向けて出発。途中昼食を頂きましたが、相変わらずバスの中はシーンとしています。

おぢばに着いて三殿を礼拝。当初、「回廊ふきひのきしん」をする予定でしたが、

渋滞で大幅に遅れたために中止。そのまま宿舎である山名詰所に移動。山名学生会の参加者と合流しました。人数も増え、教区と直属の垣根を越えて交流を楽しみます。ウオーミングアップは、教区の学担スタッフが担当。ちよつとしたハプニングはつきものですが、全く動じず笑いながら進める姿は、もうベテランの域に達しています。こういうスタッフがいるからこそ、初対面で緊張している学生も安心して楽しめるの



だと思えます。山名学生会の学生さんとはスケジュールを共有し、部屋も同じで一泊二日を過ごしました。ウオーミングアップの後、夕食にバーベキューを堪能しました。今年山名の学担の先生方が用意をしてくださり、詰所の外で班



ごとにいただきました。風が出てきて多少寒かったです(何人かは中に入りたいたいとコソソリ言っていました)。温かい「おでん」や「焼き鳥」、「タレに漬けたお肉」でお腹はいっぱいです。

春学が開催される時期は桜が素晴らしく見頃で、食事を終えた参加者は別席場前の「しだれ桜」を見に行きました。その日はちょうど天理中学校弦楽部のプチコンサートが開催され、ライトアップされた桜をさらに幻想的なものにしてくれました。

その後は入浴、再度集まってフォトコンテストの結果発表、表彰。「では、解散!」といきたかったのですが、スタッフが用意したカードゲームを日が変わるまでやりました。「そろそろ部屋に……」と言うと、名残惜しそうにカードを片付ける姿からは、会話がなかったバスの中が嘘のようです。おそよ十時間で、こんなにも仲良くなるもんだと、あらためて春学のすごさを感じました。

翌二十八日は、神殿の朝づとめ参拝からスタートです。その後は朝食を取り、別席を運ぶ人は早めに出発し、残った参加者で部屋の片付けです。本来であれば詰所勤務の方が部屋の掃除をされるのですが、学生さんもスタッフも水回りなど、シンクまで洗ってくれて詰所の方が大変喜んでおりました。こういう姿はお道ならではだなど感じます。

その後、参加者は本部中庭での式典に参加。真柱様のメッセージ(代読)を頂戴し、それぞれがしっかりと心に治めるとともに、お互いの成人を誓い合いました。

今年には直属アワーが開催されるので、参加者はそれぞれの会場に向かいます。午後三時頃には宿舎に集合。荷物をもとめて帰路につきました。

◇ 今年は感染症対策の規制が緩み、行事に参加しやすくなったとはいえ十人を超える参加者をいただきましたことは大変ありがたく、あらためて声をかけ学生さんを誘ってくださいました教区管内の會長さん方をはじめ、ご協力下さいました諸先生方に、心から御礼申し上げます。

誠にありがとうございました。春学は無事に終わりましたが、今年度は東海ブロックの行事も開催される予定です。学生は、行事を通して多感な時期に多くの教友と出会い、たくさん語り合って親友になる。その中でお道の素晴らしさも感じ、次の世代のようぼくが育つという環境が、学生会活動にはあります。

しかし、参加しなければ出会いも成人の場も、魅力や楽しさも感じられません。

教會長さんをはじめ、皆様には参加を躊躇する学生さんの背中をドンと押してあげてほしいと思います。

そして、これからも学生会活動のうえにご理解、ご協力を賜りますよう、紙面をお借り致しますようお願い申し上げます。

ありがとうございます。

教区学生担当委員会  
委員長 岡野多吉

# 新任・教会長に就任して

東駿支部

東大教会部属

東戸倉分教会四代会長

新貝 貴道



教祖百四十年祭の三年千日スタートの一月二十六日に、天理教東戸倉分教会長の理のお許しをいただいた東大教会部内、新貝貴道と申します。

お運び当日は、十年に一度の大寒波により、静岡より天理に帰るのも大雪と吹雪のため、いつもの道が通行止め。初めての道や大雪の峠越え、他車の事故や立ち往生、自社の車のスリップ、その中を親神様、教祖にお連れ通り

お道のニュース  
Twitter 公式アカウント開設

@tenrikyo\_news  
アカウントフォローで  
更新情報をいち早くお届け!!

自分自身、親から会長の理を受け継ぐという事で、親孝行をしているような軽いつもりでおりましたが、お運びを迎えるその日までいろいろな事柄をお見せいただきました。先代の会長様方、また

前会長がお通りくださった苦勞の日々を思うと、会長の理を受け継ぐということがどれほど責任のあるものかを感しました。



誥所の先生に道中のことを申し上げると『逸話篇四十四「雪の日に」の増井りん先生の話をもう一度読み返してごらん』と言われ読み返すと本当に結構にお連れいただいたと強く感じました。

普段何気なく帰らせていただいているおぢばに帰れないかもしれぬ、お運びにも間に合わぬかもしれない中、神様を頼りに帰ることができました。

論達にありますように、職場や家庭など身近な所からにいがけを實行し、教祖百四十年祭には、今よりにぎやかな教会にできるよ

今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

四月十六日、教区おうた合唱団（梅田聡团长）は、六月四日おぢばで開催される「第六十回歌う一手一つ」に向けて、教務支庁にて合同練習を開催した。

## 第六十回 歌う一手一つ出演に向けて 教区おうた合唱団合同練習開催

第六十回 歌う一手一つ出演に向けて

務支庁に集合。親神様、教祖、祖霊様拝礼ののち、梅田团长の挨拶。続いて指揮芹澤広和副团长、伴奏小野裕子先生の指導により、ストレッツ、腹式呼吸、発声練習を十分にしたのち、おうた一番「やまさかや」（永井幸次作曲）、「あゝやまと」（福原光江作詞・林雄一郎作曲）、「夜のうた」（阪田寛夫作詞・佐々木伸尚作曲）おうた十番「よふきづくめに」（松田元雄作曲）の四曲を練習。テンポや音程を合わせつつ、音の強弱に注意しながら曲想がつけられていった。途中、昼食などの休憩を挟んで午後三時ごろまで熱心に続けられ、団員それぞれが歌う喜びを味わいつつ、おぢばで

第64回

リニューアル!

# 道の教職員 夏の集い

開催テーマ「つながろうおぢばへ  
～仕切って心の成人を～」

主催：道の教職員の集い／後援：天理教布教部、学校法人天理大学

開催  
案内

## 7日のプログラム

**特別講演**  
松村登美和  
本部員  
(天理教布教部長)

部屋別タイム  
& 若手の集い

**教育と求道  
の9分科会**  
若手実践発表会、  
教育と求道の実践  
交流会、すぐに役  
立つ学び、求道の  
研修、伏せ込み、  
にをいがけ絵手紙

## 8日のプログラム



グループ  
トーク

**教育講演**  
「BBQ型学級経営」  
～もらう喜びから与える喜びへ～  
**渡辺道治氏**  
・・・天理小学校、札幌市の公立小学校を経て、現在愛知県の私立・瀬戸SOLAN小学校教諭として勤務。教員の傍ら、執筆活動、講演、国際交流事業などで精力的に活動中。

立教186(2023)年 8月7日(月)～8日(火) (申込締切 6月30日)

◆研修会場：南右第二棟・陽気ホール他

◆宿舎：高安詰所他

お問合せ：道の教職員の集い全国事務局

〒632-0094天理市前裁町169-20

☎ 0743(62)7360 / Email:mitinotudo@gmail.com

詳しくはホームページをご覧ください。



集いHP



申込フォーム

集いHP : mitinotudo.com